

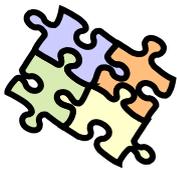
# はもりあ

「はもりあ」とは造語で、女性と男性の協働という素敵な“ハーモニー”が奏でられる“中核エリア”という意味です。

2006年10月に公募で決定した男女共同参画センターの愛称です。

2010年7月1日発行

この情報紙「はもりあ」も今月で、なんと3年目に突入しました～  
毎月発行というのは、なかなか大変ですが、「わかりやすい」「読みやすい」とのうれしいご意見に支えられ、頑張っ発行しています。これからも男女共同参画に関する情報をたくさん発信していきますので、引き続きご覧ください！ **予告**7月中旬に、「はもりあ」のホームページをリニューアルします！



## 平成22年版「男女共同参画白書」が公表されました！

国は、6月15日に、男女共同参画の現状と促進施策をまとめた「平成22年版 男女共同参画白書」を閣議決定しました。今回は、その中の特集編「女性の活躍と経済・社会の活性化」を取り上げます。

### 【女性の活躍こそ経済成長のカギ】

日本は、現在、人口減少と少子高齢化が同時に進行していて、労働力人口や消費者数の減少は、経済成長力の低下の要因につながると言われています。そこで、現在働いていない女性、若者、高齢者等の労働市場への参加促進が課題になってきています。

日本の女性は、諸外国に比べて結婚・出産・子育てを機に仕事を一旦離職し、子育てが一段落したら再就職するという就業パターンが多いです。しかし、白書によると、現在離職中の女性で、就業を希望している女性の数は、345万人にも上るそうです。

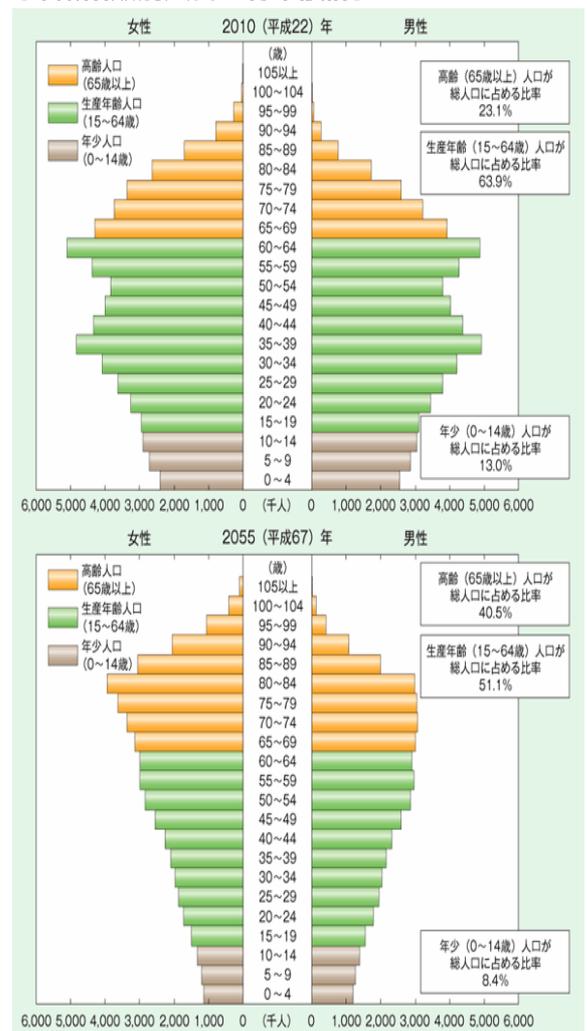
保育施設など子どもの預け先の確保、短時間勤務制度の普及等、女性の就業に関する希望が実現することと、男性を含めた働き方の見直し、誰もが働きやすい職場環境の整備が実現すれば、女性たちの就業が進み、不足する労働力を補えるだけでなく、納税や社会保障の担い手を増やすことにもなり、また、ライフスタイルの変化が新たな消費需要の掘り起こしにもつながります。

### 【女性が能力を十分発揮できる環境整備の必要性】

「男女共同参画社会」は、働く女性への支援のためだけに必要な社会ではありません。女性が就業を継続し、あるいは一旦離職しても再就業が容易にできる就業環境は、さまざまなライフスタイルを希望する人々にとっても、働きやすい環境であるといえます。

すべての人々が、あらゆる分野で、自らの希望に沿って参画できる社会を目指して、四日市市も「男女共同参画プランよっかいち」に沿って、さまざまな取組を進めていきます。

【年齢階級別人口の将来設計】



(2010年版 男女共同参画白書より抜粋)

# 「さんかくかふえ」open!



はもりあ四日市は、今年度、子育てのこと、健康のこと、仕事のこと、介護のこと、地域のことをテーマに取り上げて、ちょっと“男女共同参画”のことを考える講座を企画しました。

この講座に講師はいません。はもりあ四日市の職員が各テーマに沿って、進めていきます。

第1回目は、**子育てママのおしゃべりサロン 「ママとパパの子育て」**

コーヒ一片手におしゃべりしながら、自分のこと、社会のこと、一緒に考えてみませんか？

無料の託児があります。気軽にご参加ください。

日時 7月29日(木) 10:00~12:00

対象 どなたでも

参加費 300円(コーヒーとお菓子つき)

場所 はもりあ四日市 企画室

定員 8名(応募多数の場合は抽選)

締切 7月22日(木)

申込み 電話・ファクス・Eメールで、「はもりあ四日市」まで  
お名前、ご住所、電話番号、託児の有無を  
お申込ください。

今回の講座は、ホッタが担当します。

詳細等は、インターネットで**はもりあ**と検索するか、354-8331までお問い合わせください。

厚生労働省の  
父親支援  
プロジェクト

## 「イクメンプロジェクト」

スタートしました!

### 【イクメンとは?】

育児を楽しみ、自分自身も成長する男性(Men) = 現役パパ、または、これからそんな人生を送りたいと思っている男性 = プレパパのことをいいます。働く男性が育児をより積極的にすることや、育児休業を取得することができるよう、社会の機運を高めることを目的に、厚生労働省が6月17日に「イクメンプロジェクト」を立ち上げました。

### 【キャッチコピーは “育てる男が、家族を変える。社会が動く。”】

現在、3割の男性が育児休業を取得したいと希望しているにもかかわらず、男性の育児休業取得率は1.23%に過ぎません。厚生労働省は、この育児休業取得率を2017年に10%、そして2020年に13%という具体的な数値目標を掲げ、ワーク・ライフ・バランス社会の実現を目指しています。

### 【イクメンプロジェクトの公式サイトで“イクメン登録”できます!】

イクメンプロジェクトのホームページ内では、現役パパやプレパパが「イクメン」の決意や夢を宣言できる“イクメン登録”ができます。そして、育休・育児体験談を投稿したパパの中から毎月1人「イクメンの星」が選ばれるそうです。

また、パパでなくても、このイクメンプロジェクトに賛同し、パパたちを応援してくれる方たちは、“サポーター登録”をすることもできます。



興味がある方は、インターネットで**イクメンプロジェクト**と検索してみてください。

Q

子どもの頃から「～しなさい」「～してはだめ」と母から頻繁に注意されてきました。長女の私が母の指示に意見しようものなら、さらに怒られたので（母は他の兄弟の意見はきちんと聞く）泣く泣く従ってきました。結婚後も、頻繁に母から電話で呼びつけられます。母の相手をしないと機嫌をそこねて後が大変なので、無理して母の都合に合わせてきました。母から解放されるとどっと疲れが出て、私は何をしているのだろうと情けなくなります。あまりに疲れ、辛いと誘いを断ったら、母は猛烈に怒ってきました。母は、父とは仲が良くないし、他の兄弟も県外在住なので、頼る人は私しかいません。母をうとましいと思うこと自体、親子なのに申し訳ないと罪悪感を持ちますが、これまでのようなつき合いは、いい加減にやめたいのです。でもどのようにつき合っていけばいいのかわかりません。

プライバシー保護のため、いくつかの事例を組み合わせ作成しています

A

お母さんとの関係を息苦しく感じるのなら、かかわり方を見直す時期かもしれませんね。お母さんは、あなたに頼りきってきたので、あなたが離れようとする不安になるのでしょう。長女としてお母さんを長い間支えてきたあなたが、罪悪感を持つお気持ちもわかります。しかし、あなたが、お母さんの人生の責任を取ることはできないのです。大切なことは、母娘が互いに自分を大事にしなが、それぞれの責任で幸せになれるように生きていくことです。あなたがお母さんと距離をとることで、お母さんも他に目を向けることができるかもしれません。

はもりあ電話相談 354-8335 (火)～(土) 9:00～12:00  
13:00～16:00



## 今月のおすすめ本

今月は、社会が抱える様々な課題を男女共同参画の視点で考える時に役立つ本をご紹介します。この2冊は、「はもりあ」で貸出できます。



### 男女共同参画社会をめざして 「地域から変える女性たちが変える」

この本は、人権、労働、法律、平和など女性にかかわる多種多様な問題を幅広く取り上げている「女性展望」という雑誌の連載をまとめたものです。地域から世の中を変えようとチャレンジしてきた全国各地の女性たちが、自分の体験や思いを熱く語っています。「絶対に変わる、変えるという意味をもてば前進する」という言葉にパワーをもらえます。



### 「知っていますか？ ジェンダーと人権 一問一答」

「ジェンダー」という言葉がわかりにくいと思っ  
ていらっしゃる方にお勧めします。一問一答で、学  
校、スポーツ、家族、政治など、総合的に現代社会  
を捉え直すことができます。ジェンダーに鋭敏な視  
点とは何か、男女共同参画を推進する意味とは何か  
がわかりやすく語られています。

## 今月のキーワード

## ガラスの天井

アメリカの企業において、管理職の女性が、見えない障壁のためトップの座に手が届かない現象を指した言葉です。学歴や能力による昇進の制限とは別に、主に女性に対する社会的な壁という意味で使われます。管理職の4割を女性が占める等、女性の活用において日本よりも進んでいるアメリカ社会にも女性の昇進を阻むバリアが存在しています。

日本では、管理職に占める女性の割合は10.1%で国際的にみて極めて低い水準です。男女雇用機会均等法ができ、制度やシステムは整ってきています。しかし女性を活かすことを拒む「見えない」慣習が存在しているのも事実。昇進・昇格を望む女性は増加していますが、管理職の女性はいまだ少なく、この「ガラスの天井」という問題について意識にも上っていないのが日本の働く女性たちの現状です。

労働人口が減少し、厳しい経済環境で女性をいかに活用するかは、企業にとっても社会にとっても大切なポイントとなります。



## 登録グループイベント情報

- 7月16日(金) 『すくすくの会』～乳幼児をもつお母さんの集まり～  
 日頃の子育ての悩みや工夫を話し合っています。お母さんも子どもも、気持ち良く暮らすためのヒントをたくさん用意してお待ちしています。読み聞かせや手遊びなどもあります。  
**時** 10:00～12:00 **所** 四日市友の家 2階  
**費** 大人 450円(おかず代含む) こども 50円(おかずをご希望の場合は+100円)  
**持** ご飯・水筒・お食事エプロン・おしぼりなど **問** 四日市友の会 (TEL&FAX326-2081)
- 7月17日(土) つみき  
 つみきを通して木と人の触れ合いで子育て環境を創る活動をしています。今だからこそ自然のものと触れる機会を増やしていきたい。事前予約も受付けています。  
**時** 13:30～16:00(出入り自由) **費** 無料 **所** はもりあ四日市 こどものへや  
**問・申** NPO 幸せな家庭環境をつくる会 三重支部 (TEL345-7726)
- 7月24日(土) 四日市おもちゃの病院  
 壊れたおもちゃをボランティアの方に直してもらいます。おもちゃを治してくれるドクターも募集中!  
**時** 14:00～16:00 **費** 居場所利用料 300円(部品などの実費がかかることもあります)  
**所** みんなの居場所きらり **問** 四日市まんなか子ども劇場 (TEL&FAX351-6670)

## 登録グループ紹介

はもりあ四日市に登録されているグループさんを紹介していきます。



### 四日市まんなか子ども劇場

今回は、四日市まんなか子ども劇場さんです。

運営委員長 油田 千鳥 会員数 210名  
 連絡先 059-351-6670

四日市まんなか子ども劇場は、子どもが心も身体も豊かに成長するために、子どもの体験と子育て支援活動を通して居場所を作ります。そして、大人も子どもも互いに学びあい、こころひびきあい、表現しあう社会をめざします。子育て(ち)支援:「子どもは託児でワゲルッソ」「自己尊重トレーニング」「親子で遊ぶきらり加工」他  
 子ども体験:少年自然の家などをフィールドに様々な体験活動の実施(年8回)  
 文化芸術体験:年3～4回の、様々なジャンルの舞台鑑賞 学童保育所

情報紙「はもりあ」をご購読の皆様へ

いつも情報紙「はもりあ」をご覧いただき、ありがとうございます。この「はもりあ」は、事業終了後のアンケート等で情報提供を希望された皆様にお送りしています。送付が不要になりました場合はご連絡ください。



### 四日市市男女共同参画センター (はもりあ四日市)

〒510-0093 四日市市本町 9-8 本町プラザ 3F

TEL.059-354-8331 FAX.059-354-8339

●開館時間 AM9:00～PM9:00

●休館日 日曜日、月曜日、祝日、年末年始

Eメール kyoudousankaku@city.yokkaichi.mie.jp

http://www.city.yokkaichi.mie.jp/danjo/index.shtml